

(宛先) うるま市長

施設等利用費請求書(償還払い用)

認可外保育施設・一時預かり事業・病児保育・ファミリー・サポート・センターの施設等利用費

【令和〇年〇月～令和〇年〇月分請求用】

私は、子ども・子育て支援法第30条の11第1項の規定に基づき、施設等利用費の給付について、下記の通り請求しますので、指定する償還払いの振込先口座に振り込んで下さい。

なお、施設等利用費の審査にあたり、次の事項に同意します。

1. 申請者と認定子どもが、うるま市内に居住していることをうるま市が住民基本台帳で確認すること。
2. 実際に利用していることをうるま市が利用履歴を確認すること。
3. 利用料の支払い状況を確認すること。
4. 課税状況をうるま市が確認すること。

請求者は申請を行った代表保護者になります。

1. 施設等利用給付認定保護者(請求者)

フリガナ	ウルマタロウ	認定子どもとの続柄	父	現住所	〒904-〇〇〇〇 うるま市〇〇番地 電話：〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
氏名	うるま太郎	印			

※償還払いの場合の振込先は申請者名義の口座です

2. 認定子ども(認定子どもごとに申請して下さい)

法第30条の4の認定種別	☒ 第2号 ☐ 第3号	認定番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
生年月日	〇年〇月〇日	フリガナ	ウルマタロウ
転入または転出に該当した場合は転入・転出日を記入	年 月 日 転入	名	うるま花子

施設等利用給付認定書から転記してください。

3. 償還払いの振込先を記入して下さい(※1)

金融機関名	〇〇銀行・金庫	〇〇支店	口座種別	☒ 普通 ☐ 当座
〇〇	〇〇	〇〇	口座番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇
農協・組合	出張所	口座名義(カタカナ)	ウルマタロウ	

※1 申請者と口座名義が異なる振込先を指定する場合は、本市指定の委任状を提出してください。

4. 利用した認可外保育施設・一時預かり事業・病児保育・子育て援助活動支援事業を記入(複数記入可)

①	フリガナ	〇〇ホイクエン	所在地	うるま市〇〇番地
施設・事業名	〇〇保育園			
契約している利用料※2	☒ 月額	〇〇円	☐ 日額	円
			☐ 時間額	円
②	フリガナ		所在地	
施設・事業名				
契約している利用料※2	☐ 月額	円	☐ 日額	円
			☐ 時間額	円
③	フリガナ		所在地	
施設・事業名				
契約している利用料※2	☐ 月額	円	☐ 日額	円
			☐ 時間額	円

<裏面も記入して下さい>

④	フリガナ		所在地				
	施設・事業名						
契約している利用料※2		□ 月額	円 □ 日額	円 □ 時間額	円		
⑤	フリガナ		所在地				
	施設・事業名						
契約している利用料※2		□ 月額	円 □ 日額	円 □ 時間額	円		
⑥	フリガナ		所在地				
	施設・事業名						
契約している利用料※2		□ 月額	円 □ 日額	円 □ 時間額	円		

※①～⑥に書き切れない数の施設・事業を利用した場合は、余白等に記載して下さい。

※2 該当箇所にレを記入し金額を記入して下さい。利用料の設定が月単位を超える(四半期、前期・後期等)場合は、当該利用料を当該期間の月数で除して、当該利用料の月額相当分を算定し、月額欄の□にレを記入し、算定した月額相当分を記入して下さい。

0～2歳の場合は
42,000円。

5. 認可外保育施設・一時預かり事業・病児保育・子育て援助活動支援事業の施設等利用費の償還払い請求の内訳を記入

利用年月日	認可外保育施設に支払った月額利用料(保育料) (a) ※3 ※4	一時預かり事業・病児保育・子育て援助活動支援事業に支払った月額合計利用料 (b) ※3	支払額合計 (c=a+b)	月額上限額 (d)	請求額 (cとdを比較して小さい方)
令和○年○月	○○ 円	0 円	○○ 円	37,000 円	○○ 円
令和 年 月	円	円	円	円	円
令和 年 月	円	円	円	円	円
令和 年 月	円	円	円	円	円
令和 年 月	円	円	円	円	円
令和 年 月	円	円	円	円	円
令和 年 月	円	円	円	円	円
令和 年 月	円	円	円	円	円
令和 年 月	円	円	円	円	円
令和 年 月	円	円	円	円	円
令和 年 月	円	円	円	円	円
令和 年 月	円	円	円	円	円

※3 修正液や修正テープ、消えるペン等を利用しないでください。

※4 上記で記入した利用料合計額を施設・事業に支払ったことを証明する書類(施設からの領収証兼提供証明書)をすべて添付して下さい。
また、子育て援助活動支援事業を利用した場合は、援助を行う会員が発行した活動報告書も添付して下さい。

※5 利用料の設定が月単位を超える(四半期、前期・後期など)場合は、当該利用料を当該期間の月数で除して、利用料の月額相当分を算定して下さい。(10円未満の端数がある場合は切り捨て)

※6 月額上限額は、施設等利用給付第2号認定の場合は月額37,000円、第3号認定の場合は42,000円です。
途中で認定期間が終了する又は開始される場合か、市町村間の転出入の場合、月額限度額は次の通りとなります。
・途中で認定期間が終了する場合、
または別の市町村へ転出する場合の限度額：37,000(42,000)円×転出日までの日数÷その月の日数
・途中で認定期間が開始される場合、
または別の市町村から転入した場合の限度額：37,000(42,000)円×転入先での認定日からの日数÷その月の日数